

## 副社長メッセージ

[Investor Day\(デジタル戦略\)](#)


徳永 俊昭

執行役副社長  
デジタルシステム&サービス統括本部長

### デジタルでサステナブルな社会の実現に貢献する

#### めざす姿・ビジョン

日立のデジタル戦略を牽引するDSSセクターは、お客さまの事業や社会が抱えるさまざまな課題をデジタルの力で解決し、サステナブルな社会の実現に貢献します。DSSセクター自らがデジタルの価値を提供するとともに、GEMセクターやCIセクターと連携してグリーン×デジタル、コネクティブ×デジタルによるシナジーを創出し、社会・経済の持続的な発展や人々のQoL(Quality of Life)向上をめざします。

#### 事業戦略(Lumada事業展開)

デジタル戦略の中核となるLumada事業は、DSSセクターがお客さまの課題を直接解決する「Digital Centric」と、OTセクターと一体となりお客さまの課題を解決する「One Hitachi」を両輪として推進します。日立が有するIT×OT×プロダクトの優位性を最大限に発揮できる市場領域(エネルギー、交通・物流、金融、政府・地方自治体、通信・メディア、製造)に注力し、お客さまの事業成長に向けた変革を継続的に支援していきます。

Lumada事業のさらなる成長に向けては、デジタルエンジニアリングやクラウド上でのシステムインテグレーション・運用をはじめとするデジタルケイパビリティの強化を進めていきます。成長エンジンであるGlobalLogicは、強固な採用・育成スキームやボルトオン型M&Aによるデジタル人材やデリバリー拠点の拡充を継続し、高い事業成長の維持と活動地域や業種の拡大を図っています。また、GlobalLogicの実績あるデジタルエンジニアリング力や顧客協創スキームを、GEMセクターやCIセクターにも展開し、OTセクターでのデジタル活用やOTとデジタル双方の知見をもつ人材の育成を図るなど、One Hitachiでの事業推進を加速します。

グローバル事業拡大のため、高信頼・高効率なデータ管理、柔軟なデータ活用を可能とするサービス提供基盤の強化も進めています。高信頼・高効率のクラウドネイティブなシステム運用を実現するHARC(Hitachi Application Reliability Centers)サービスの展開やハイパースケーラーとのアライアンス拡大など、グローバルなサービス提供を支えるクラウドソリューションの強化・拡充も図っています。

また、成長を支えるデジタルテクノロジーの強化に向けた投資も積極的に行っています。革新的イノベーションである生成AIの安全・有効な利活用を推進する「Generative AIセンター」を2023年5月に新設しました。加速度的に進化する生成AIをいち早く活用し、Lumada事業によるお客さまへの価値提供の最大化と日立グループ全社の生産性向上の実現に取り組んでいます。

#### 価値協創ストーリー(事例)

マテリアルズ・インフォマティクスを加速し、材料開発の高度化を支援するソリューションは、すでに50社、100件を超える実績があります。[積水化学との協創](#)においては、日立ハイテックの計測・分析装置メーカーならではのノウハウと、GlobalLogicのデジタルエンジニアリングを融合し、実験環境を自動化して材料開発をスピードアップする「ラボ・オートメーション」に取り組んでいます。材料開発で使用される実験・計測装置と解析環境をシームレスに連携し、データ収集から分析までを自動化し、研究開発期間の短縮をめざしています。



材料開発の研究風景